

防災力交流強化委員会 基本方針

副理事長 岡田 直樹

防災力交流強化委員会委員長 廣岡 希龍

今日まで発令されることがなかった南海トラフ臨時情報の発令で私たちの住む地域に、緊張感が高まり大災害が目前まで迫っている状況を改めて再認識しました。また過去2年近隣LOMを招いて例会を開催し繋がりを強めてきました。今後、地域間での交流が活発になることが予想され、更に強固な連携が必要だと感じます。SNSでの活動の発信においては鳴門板野JCの魅力活動を活動地域の方々が日々、目にすることが少ないのが現状です。

まずは、鳴門板野JCの魅力や楽しさを既存のSNSを最大限に活かして対外に発信し、今まで鳴門板野JCを知らなかった活動エリアの方々に対して認知度を上げていきます。さらに、地域で親しみやすい一番近い組織としてファンの増加を図ります。そして、今年3年目となる、淡路JCと東かがわJCをオブザーブとして招いた例会を本年度は、東かがわの地においてLOM同士の垣根を越えて共に企画することにより、3LOMの運営方針や今後の連携強化を発展させ、再度理解すると同時にお互いの思いを共有することで、2027年頃の大鳴門橋自転車道開通でのサイクリング事業実現をより強固なものとし、また、私たちが住んでいる地域の災害時における課題についてメンバー全員で取り組み、課題解決に向けて学ぶことにより防災意識を向上させ、地域のリーダーとして周りの大切な友人、家族や財産を守り行動を起こせる団体になることを目指し、その知識を老若男女問わず共有した上で活動エリアの方々に対して、災害の対応力を高める機会を提供し、今後起こりうる大災害についての防災意識の向上を目的とした例会の設営を行います。

SNSを用いて活動を発信し、地域の方々が地元には私たち青年会議所が必要だと感じ、近隣LOMとの連携をより強化することで今後地元が活気に満ち溢れ、災害発生時には、一人でも多くの方が正確かつ俊敏な行動をとることで自主防災を確立する事ができます。

SDGs 4、8、11、13、17

<事業計画>

1. ブランド力向上にむけた広報活動の実施
2. 4月近隣LOMとの更なる交流強化に向けた例会の企画・設営
3. 9月防災意識の向上と対応力を高める例会の企画・設営